

平成28年3月期決算のお知らせ

平成28年5月13日

株式会社T & Dホールディングス
(コード番号 8795 東証第一部)

太陽生命保険株式会社

大同生命保険株式会社

T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

T&D保険グループ決算の概況

1. 契約業績

保有契約高は60兆5,822億円、前年度末から0.4%の増加。年度末では6期連続で増加し、過去最高を更新。
保有契約年換算保険料は1兆4,689億円、前年度末から1.6%の増加。第三分野新契約年換算保険料は、前年から18.3%の増加。

2. グループ連結損益

当期純利益*は725億円、前年から23.0%の減少。これは主に金利低下等に伴う退職給付債務の不足額を一括繰入したことによる。また、T&Dフィナンシャル生命において変額個人年金保険の保有契約高減少に伴い収益が減少したことによる。

* 親会社株主に帰属する当期純利益

3. Group MCEV

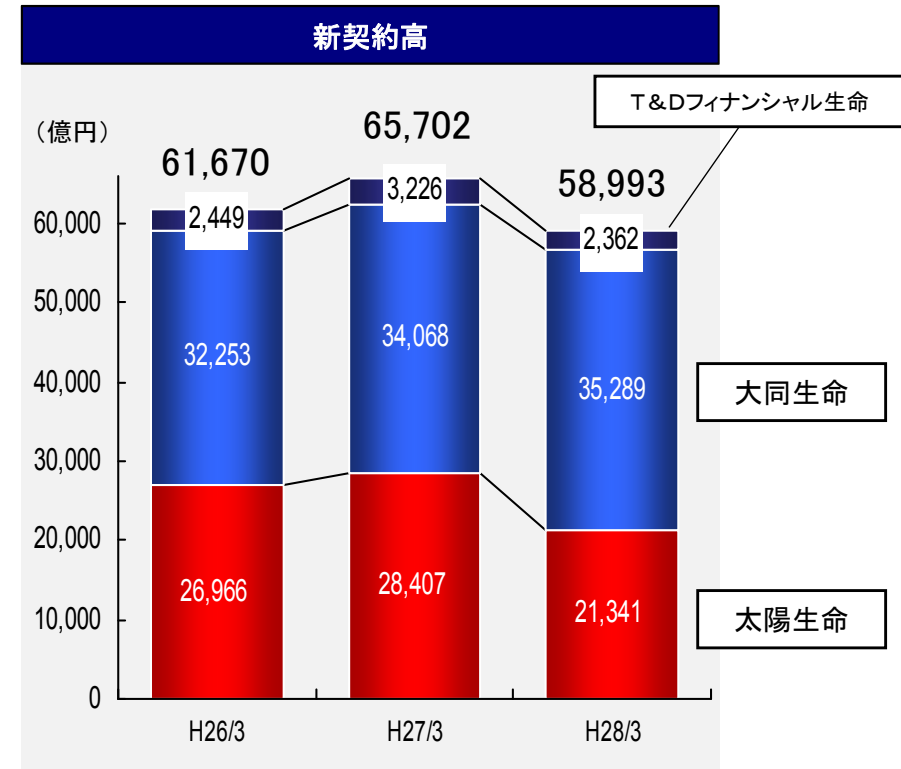
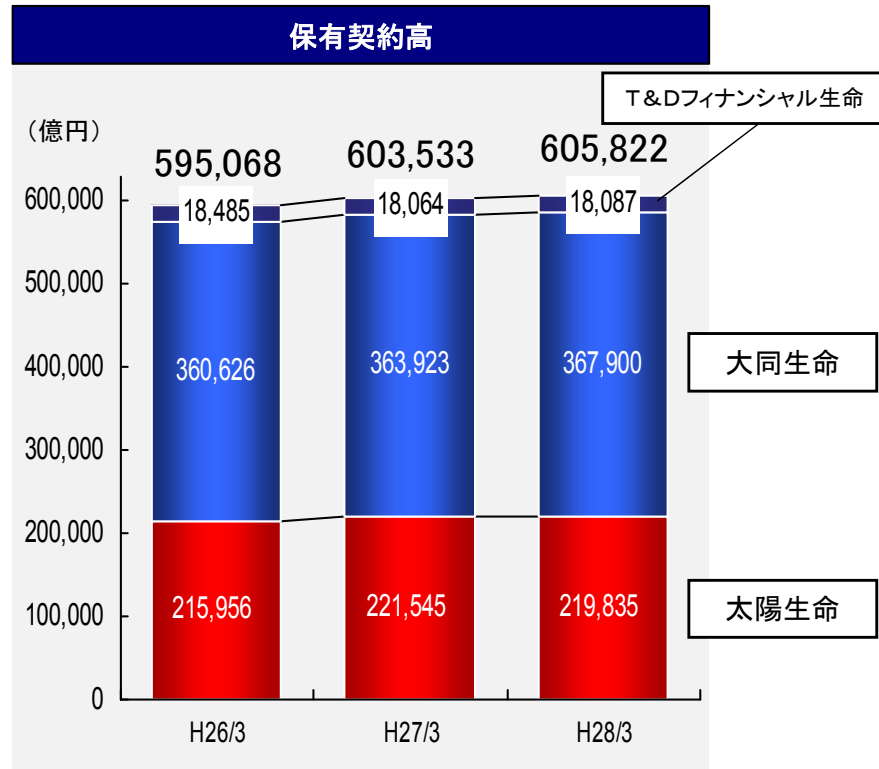
生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つである市場整合的エンベディッド・バリュー(MCEV)は、事業活動によるMCEVが増加した一方で、金利低下をはじめとする経済変動および経済的前提変更の影響等により前年度末から4,043億円の減少。

4. 株主還元

実質利益*の40%の総還元を実施予定。株主配当は前期の25円から5円増配し30円、140億円の自己株式の取得を予定。

* 実質利益は、当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過した額を加算して算出(税引後)

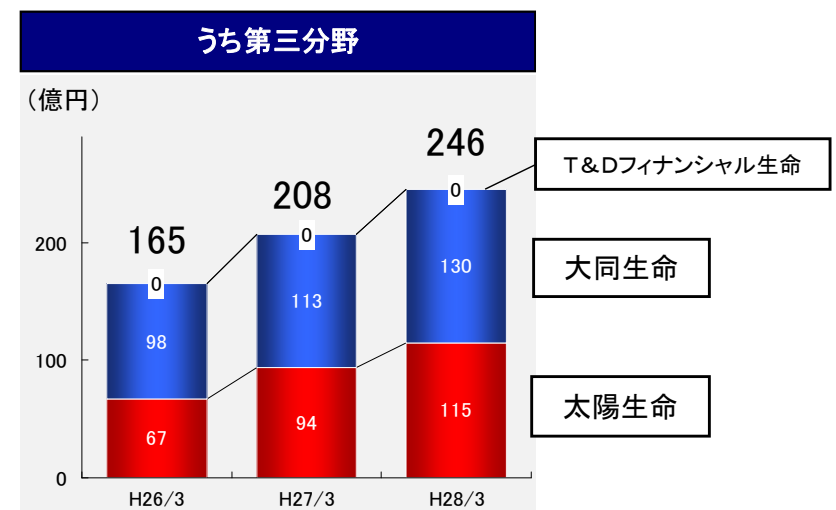
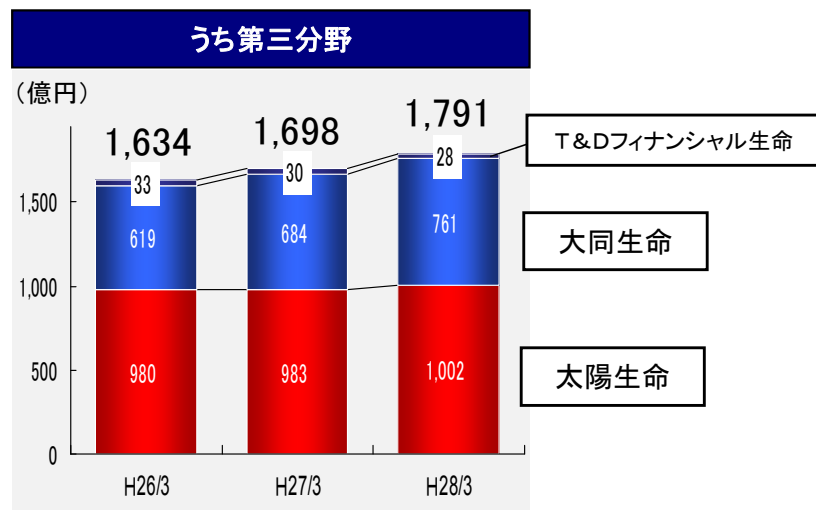
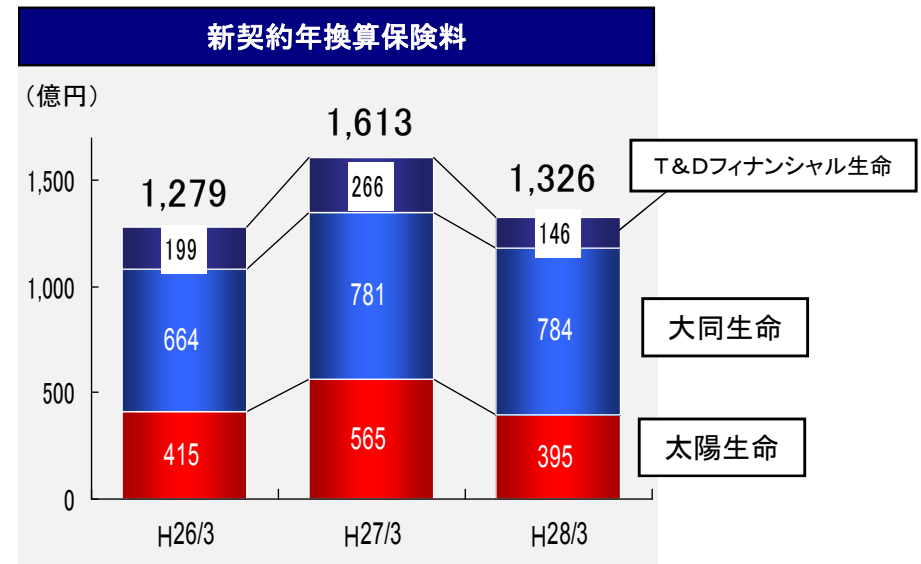
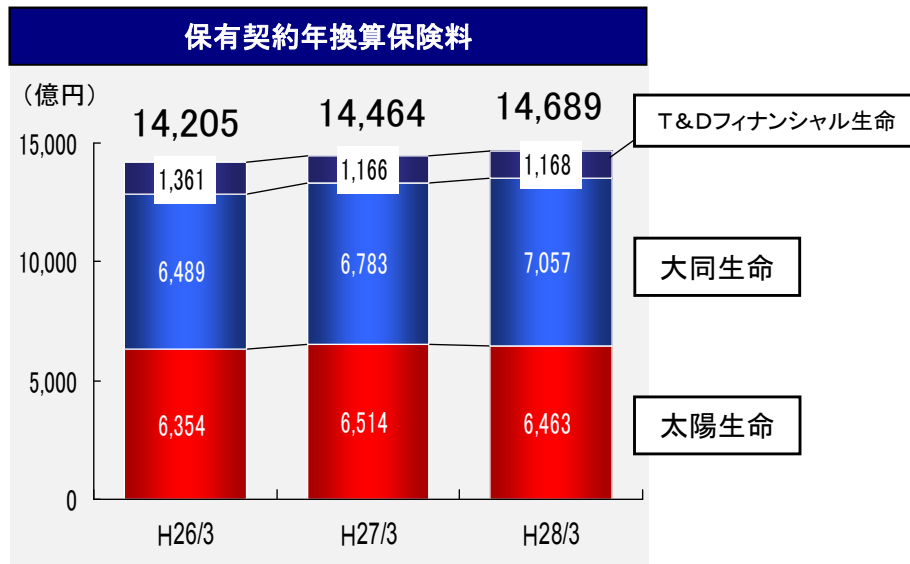
T&D保険グループ決算の概況(契約業績:個人保険・個人年金保険)



- 保有契約高は60兆5,822億円、前年度末から0.4%の増加。年度末では6期連続で増加し、過去最高を更新。
- 新契約高は5兆8,993億円、前年から10.2%の減少。これは主に金利低下により一時払商品を販売抑制・休止したことによる。

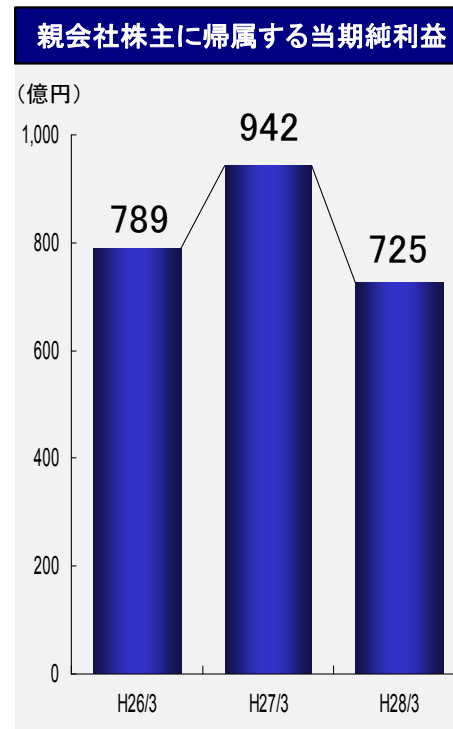
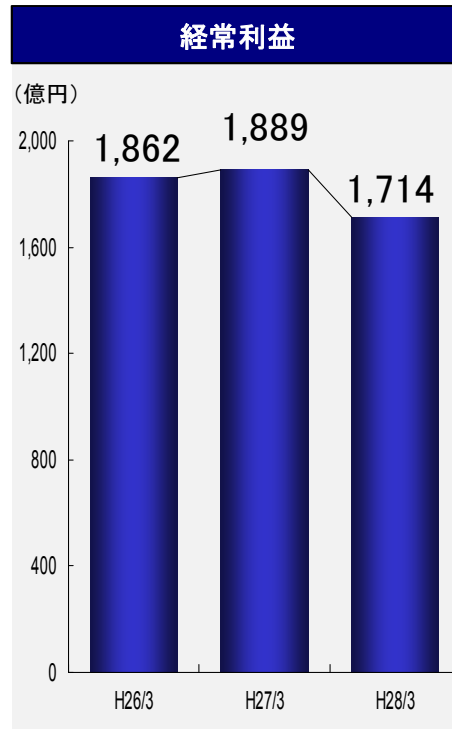
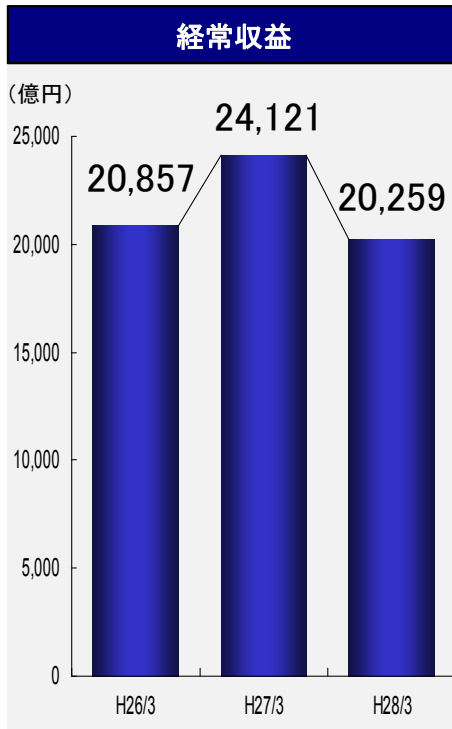
* 大同生命の「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額および「介護リリーフ(無配当終身介護保障保険)」の介護保険金額を加算した保有契約高は3社合算で62兆9,981億円、前年度末から1.4%の増加。同基準での新契約高は3社合算で6兆6,859億円、前年から7.5%の減少。

T&D保険グループ決算の概況(契約業績:個人保険・個人年金保険)



- 保有契約年換算保険料は1兆4,689億円、前年度末から1.6%の増加。うち医療保障保険・生前給付保障等の第三分野保有契約年換算保険料は、1,791億円、前年度末から5.5%の増加。
- 新契約年換算保険料のうち第三分野は、分割払の医療・介護系商品の販売増加により246億円、前年から18.3%の増加。

T&D保険グループ決算の概況(連結損益)



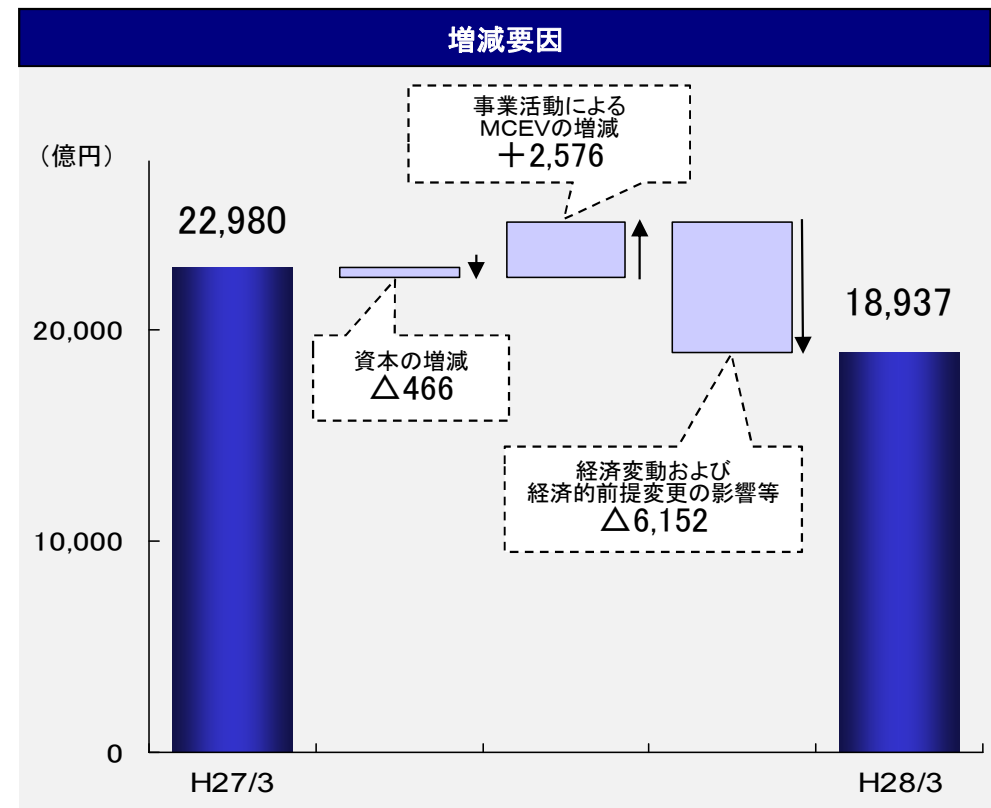
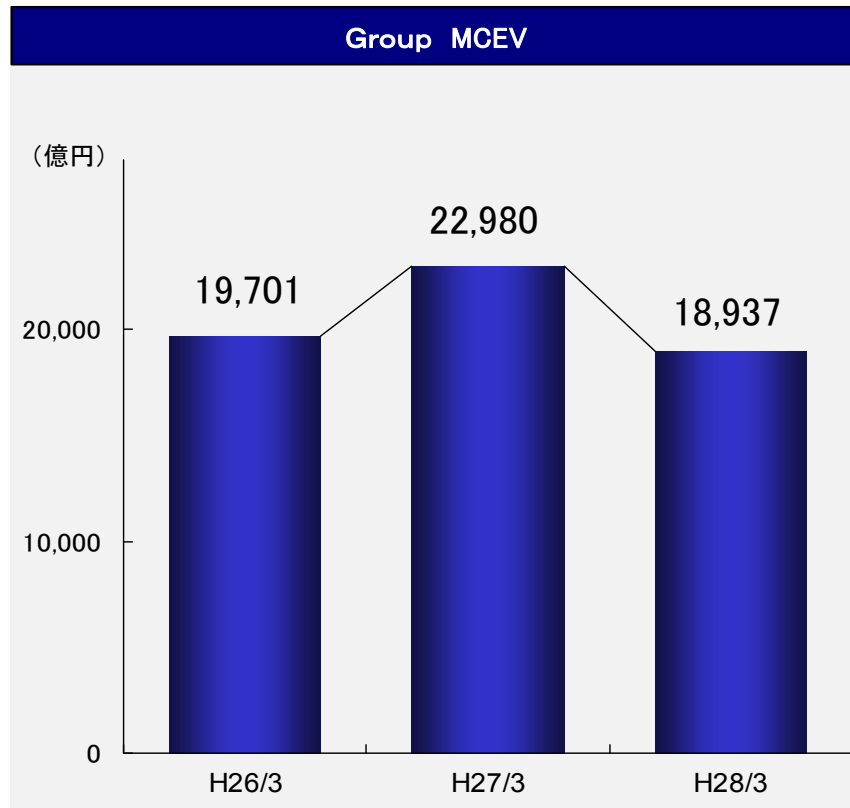
(単位:億円)

	T&Dホールディングス連結	
	当事業年度	前年比
経常収益	20,259	△ 3,862 (△ 16.0%)
うち保険料等収入	15,745	△ 3,835 (△ 19.6%)
うち資産運用収益	3,797	△ 45 (△ 1.2%)
うち 利息及び配当金等収入	2,907	+27 (+1.0%)
うちその他経常収益	716	+18 (+2.6%)
経常費用	18,544	△ 3,687 (△ 16.6%)
うち保険金等支払金	13,028	△ 986 (△ 7.0%)
うち責任準備金等繰入額	1,943	△ 2,907 (△ 59.9%)
うち資産運用費用	774	+110 (+16.6%)
うちその他経常費用	807	+100 (+14.2%)
経常利益	1,714	△ 175 (△ 9.3%)
特別利益	1	△ 0 (△ 27.5%)
特別損失	294	+211 (+253.3%)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	319	△ 6 (△ 2.0%)
法人税等合計	375	△ 163 (△ 30.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	725	△ 216 (△ 23.0%)

- 経常収益は2兆259億円、前年から16.0%の減少。これは主に金利低下に伴う一時払商品の販売抑制・休止のため保険料等収入が減少したことによる。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は725億円、前年から23.0%の減少。これは主に金利低下等に伴う退職給付債務の不足額を一括繰入したことによる。また、T&Dフィナンシャル生命において変額個人年金保険の保有契約高減少に伴い収益が減少したことによる。

* 保険料等収入の3社合算は1兆5,715億円(前年比△19.6%)です。

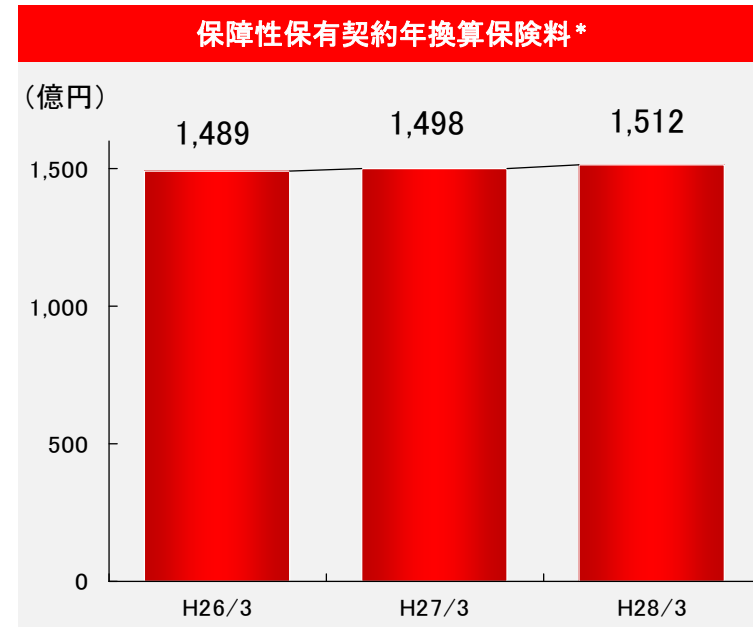
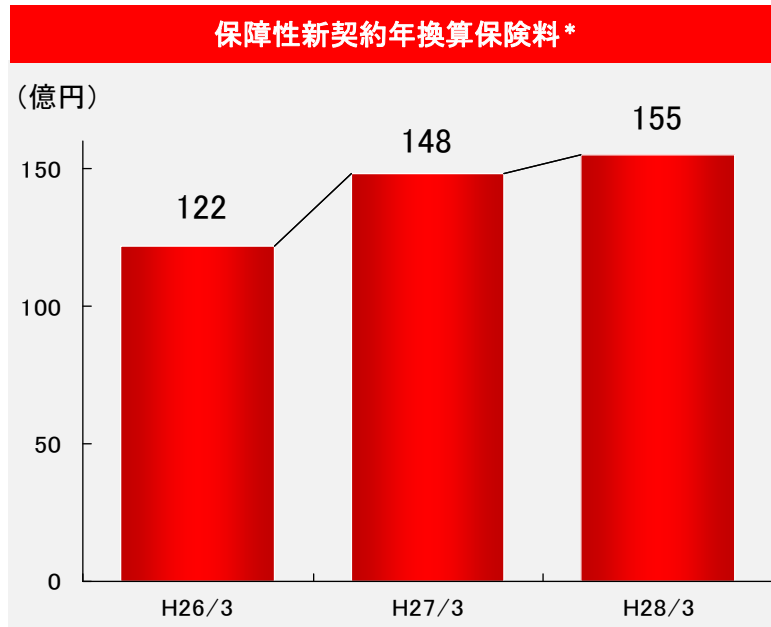
T&D保険グループ決算の概況(市場整合的エンベディッド・バリュー:MCEV[速報])



- * 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV(エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。
- Group MCEVは1兆8,937億円、前年度末から4,043億円の減少。株主配当・自己株式の取得による減少額が466億円、事業活動による増加額が2,576億円。一方で、金利低下をはじめとする経済変動および経済的前提変更の影響等による減少額が6,152億円。
- * MCEVについては本日開示のニュースリリース(速報版)をご参照ください。なお、詳細については、第三者の検証を受けた平成28年3月末MCEVを、平成28年5月18日に開示する予定です。

【中核生保の主要ポイントと状況(太陽生命)】

- 時代の変化を先取りした商品を開発、対面サービスを強化。保障性商品を拡販。



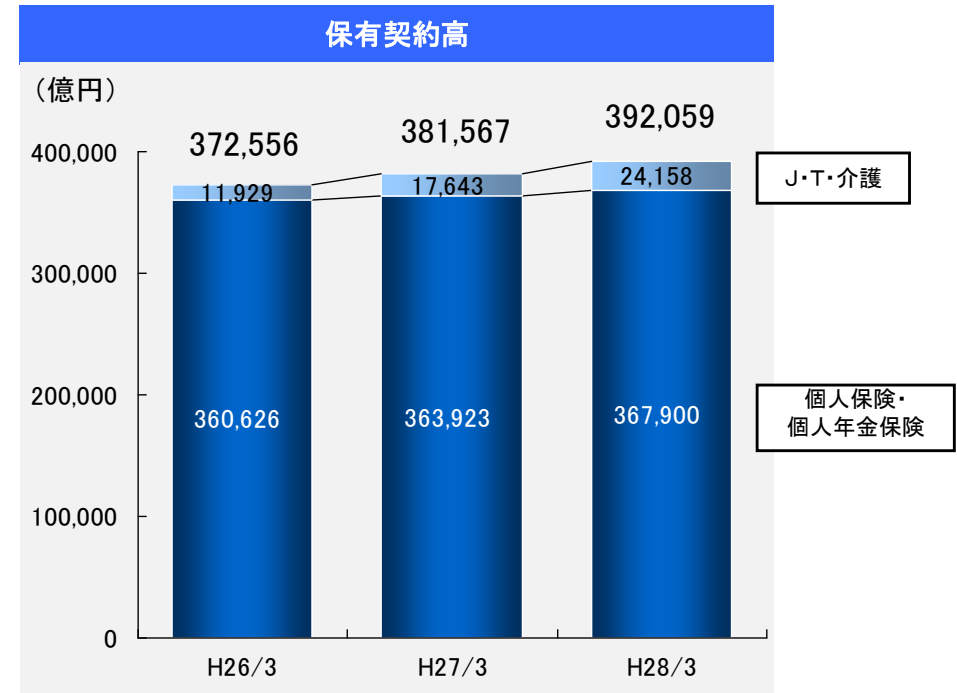
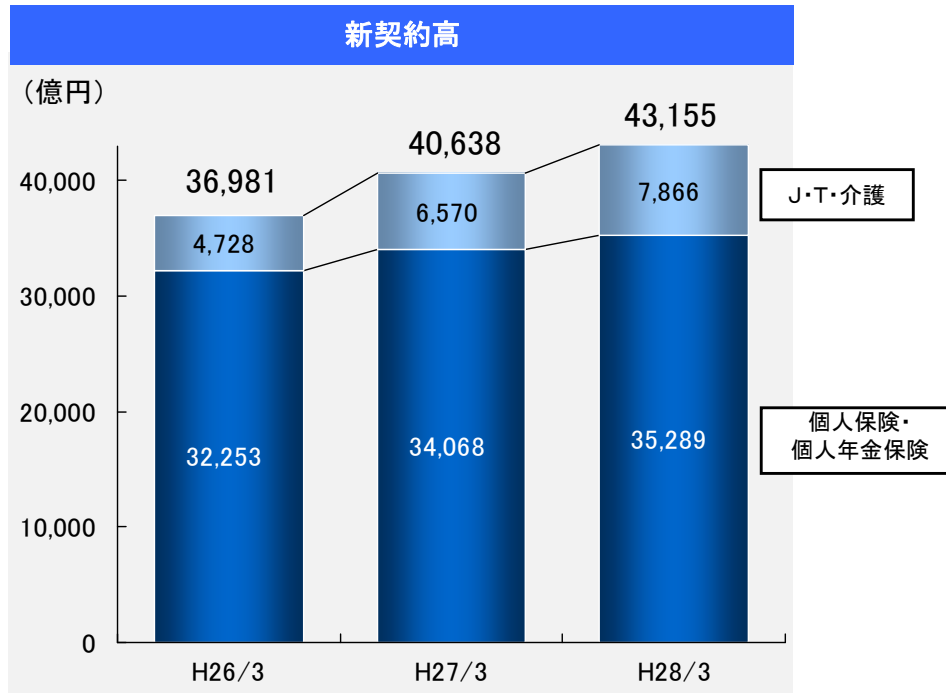
- 保障性新契約年換算保険料*は、医療・介護系商品の販売好調による第三分野新契約年換算保険料の増加等により155億円、前年から4.6%の増加。
- 保障性保有契約年換算保険料*は、過去販売した商品の満期による減少がある中で、新契約業績の好調により1,512億円、前年度末から1.0%の増加。

* 保障性年換算保険料(太陽生命独自の指標)とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保険料の合計です。
 * 保障性年換算保険料の伸展は「EVの伸展」に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標としています。

- ・平成28年3月に「ひまわり認知症治療保険」と「認知症治療保険」を発売。販売2ヵ月で約4万件のご契約をいただいております、今後の契約業績(特に保障性年換算保険料の伸展)に大きく寄与する見込み。
- ・平成28年4月にシニアのお客さまが安心、便利に給付のお手続きができるよう、専門知識のある内務員が直接お客さまやご家族のもとへ訪問し、お手続きサポートを行う「かけつけ隊サービス」を開始。
- ・時代を先取りした”新商品と新サービス”を一体で営業を推進することにより、「シニアマーケットでのトップブランド」を目指す。

【中核生保の主要ポイントと状況(大同生命)】

- 主力の個人定期保険および法人市場における就業不能保障(J・Tタイプ)が伸展、介護新商品も販売好調。



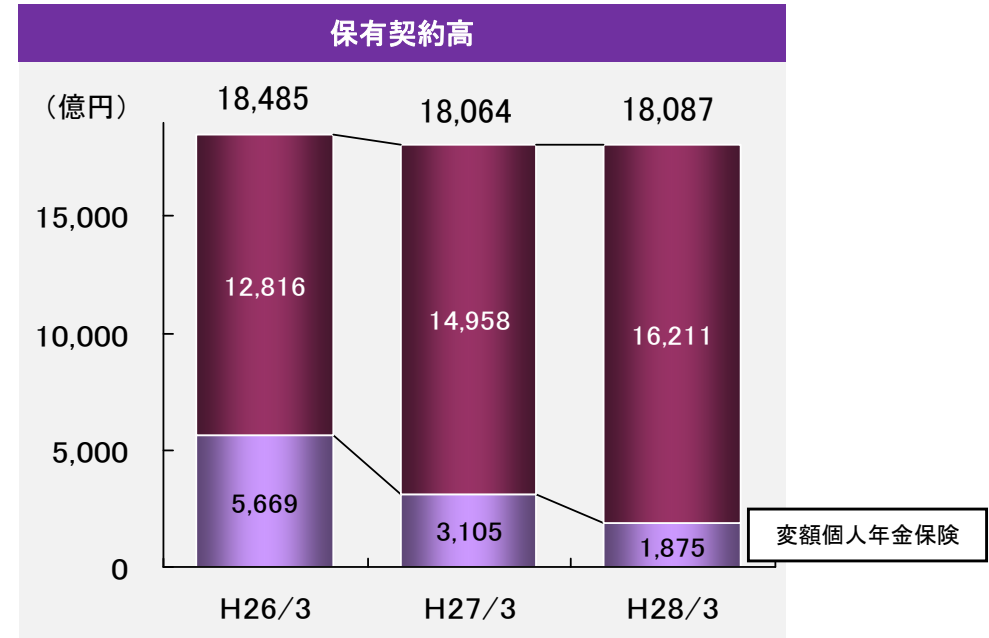
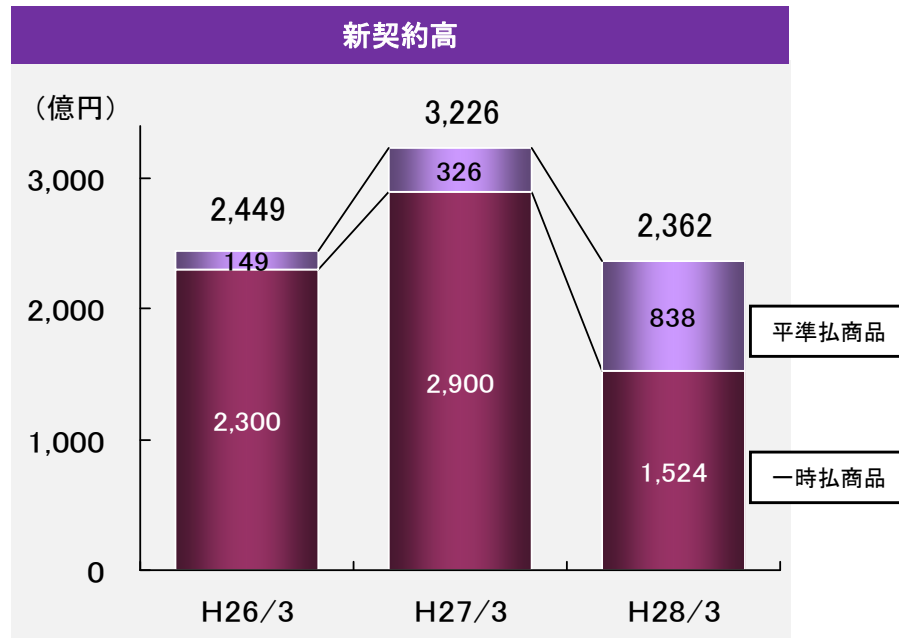
- 新契約高*は4兆3,155億円、前年から6.2%の増加となり2年連続で4兆円を突破。Jタイプは前年から11.0%の増加、Tタイプは前年から30.7%の増加となり、介護商品を含む就業不能保障の新契約内の占率は19.2%へ上昇(前年16.2%)。
- 保有契約高*は39兆2,059億円、前年度末から2.7%の増加。平成19年度末以来の39兆円台を回復。

* 個人保険・個人年金保険の契約高に、死亡保障がないJタイプ(無配当重大疾病保障保険)の重大疾病保険金額、Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)の就業障がい保険金額、介護リリーフ(無配当終身介護保障保険)の介護保険金額を加算した金額ベース。

- ・平成27年10月に経営者個人・個人事業主に対する保障として、要介護状態になった際に「収入保障」「介護費用の負担」に備えられる商品「収入リリーフ」「介護リリーフ」を発売。販売状況は、当初予定の1.4倍で推移しており好調。
- ・商品発売と同時に介護サービス「介護コンシェル(介護に関する相談受付、介護情報ポータルサイト等)」をスタート。

【中核生保の主要ポイントと状況(T&Dフィナンシャル生命)】

- 商品ラインアップの拡充、代理店開拓を着実に推進。平準払商品の新契約高が増加。



- 新契約高は、円建一時払終身保険の一部販売休止のため前年を下回ったが、外貨参照型の一時的終身保険の新契約高は前年から91.2%の増加。また、新商品の投入効果や代理店拡大等により、平準払商品の新契約高は前年から増加。
- 保有契約高は1兆8,087億円、前年度末から0.1%の増加。
- 企業価値を示すMCEV(市場統合的エンベディッド・バリュー)は、金利低下をはじめとする経済変動および経済的前提変更の影響のため934億円と前年度末から23億円の減少となったが、新契約価値は35億円と前年から11億円の増加。

* MCEVについては本日開示のニュースリリース(速報版)をご参照ください。なお、詳細については、第三者の検証を受けた平成28年3月末MCEVを、平成28年5月18日に開示する予定です。

- ・平準払商品として、平成27年8月に「家族をつなぐ終身保険」、同年12月に「働くあなたにやさしい保険」を発売。
- ・「家計にやさしい収入保障」を含め、平準払商品の販売が好調に推移。
- ・平成27年度末の商品取扱延べ代理店数は206代理店(金融機関等代理店156代理店、その他代理店1代理店、来店型保険ショップ49代理店)、前年度末から40代理店増加。
- ・「商品」「チャネル」の複線化を着実に推進。

参考データ(契約業績:個人保険・個人年金保険)

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
保有契約年換算保険料	14,689	+225 (+1.6%)	6,463	△ 50 (△ 0.8%)	7,057	+273 (+4.0%)	1,168	+1 (+0.1%)
うち第三分野	1,791	+92 (+5.5%)	1,002	+19 (+2.0%)	761	+76 (+11.2%)	28	△ 2 (△ 9.0%)
保有契約高	605,822	+2,288 (+0.4%)	219,835	△ 1,710 (△ 0.8%)	367,900	+3,977 (+1.1%)	18,087	+22 (+0.1%)

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約年換算保険料	1,326	△ 287 (△ 17.8%)	395	△ 170 (△ 30.1%)	784	+2 (+0.4%)	146	△ 119 (△ 44.9%)
うち第三分野	246	+37 (+18.3%)	115	+20 (+21.7%)	130	+17 (+15.3%)	0	+0 (+252.5%)
新契約高	58,993	△ 6,708 (△ 10.2%)	21,341	△ 7,065 (△ 24.9%)	35,289	+1,221 (+3.6%)	2,362	△ 864 (△ 26.8%)

* 新契約には転換による純増加を含んでおります。

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
解約失効率			5.67%	0.21ポイント低下	6.48%	0.09ポイント上昇	3.41%	2.21ポイント低下
解約失効高	36,757	△ 27 (△ 0.1%)	12,559	△ 142 (△ 1.1%)	23,582	+538 (+2.3%)	615	△ 423 (△ 40.8%)

参考データ(損益関係)

(単位:億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
経常収益	20,259	△ 3,862 (△ 16.0%)	8,738	△ 1,872 (△ 17.6%)	9,357	△ 453 (△ 4.6%)	2,180	△ 1,640 (△ 42.9%)
うち保険料等収入	15,745	△ 3,835 (△ 19.6%)	6,571	△ 2,080 (△ 24.0%)	7,489	△ 438 (△ 5.5%)	1,654	△ 1,323 (△ 44.4%)
うち資産運用収益	3,797	△ 45 (△ 1.2%)	2,029	+265 (+15.0%)	1,651	△ 38 (△ 2.3%)	142	△ 321 (△ 69.3%)
うち 利息及び配当金等収入	2,907	+27 (+1.0%)	1,481	△ 36 (△ 2.4%)	1,366	+63 (+4.9%)	74	+2 (+3.4%)
うちその他経常収益	716	+18 (+2.6%)	137	△ 57 (△ 29.4%)	216	+23 (+12.2%)	383	+3 (+1.0%)
経常費用	18,544	△ 3,687 (△ 16.6%)	7,947	△ 1,987 (△ 20.0%)	8,454	△ 381 (△ 4.3%)	2,168	△ 1,428 (△ 39.7%)
うち保険金等支払金	13,028	△ 986 (△ 7.0%)	6,042	+378 (+6.7%)	5,028	+86 (+1.7%)	1,943	△ 1,453 (△ 42.8%)
うち責任準備金等繰入額	1,943	△ 2,907 (△ 59.9%)	398	△ 2,421 (△ 85.9%)	1,813	△ 499 (△ 21.6%)	0	△ 14 (△ 99.8%)
うち資産運用費用	774	+110 (+16.6%)	365	+46 (+14.6%)	344	△ 46 (△ 12.0%)	79	+61 (+338.1%)
うちその他経常費用	807	+100 (+14.2%)	376	+20 (+5.8%)	242	+44 (+22.4%)	18	△ 4 (△ 19.1%)
経常利益	1,714	△ 175 (△ 9.3%)	791	+115 (+17.0%)	903	△ 71 (△ 7.3%)	12	△ 212 (△ 94.6%)
特別利益	1	△ 0 (△ 27.5%)	0	△ 1 (△ 97.8%)	132	+132 -	0	+0 -
特別損失	294	+211 (+253.3%)	202	+148 (+273.8%)	87	+61 (+231.3%)	6	+4 (+256.5%)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	319	△ 6 (△ 2.0%)	181	+0 (+0.2%)	137	△ 6 (△ 4.7%)	△ 0	△ 0 (+3,457.3%)
法人税等合計	375	△ 163 (△ 30.4%)	139	△ 24 (△ 14.8%)	264	△ 27 (△ 9.3%)	1	△ 75 (△ 98.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	725	△ 216 (△ 23.0%)	268	△ 11 (△ 4.0%)	544	+32 (+6.4%)	4	△ 141 (△ 96.6%)

* 1 T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の合算とは必ずしも一致いたしません。

* 2 保険料等収入の3社合算は1兆5,715億円(前年比△19.6%)です。

* 3 大同生命の特別利益には、太陽生命への不動産売却益131億円が含まれています。連結上は内部取引として消去されるため、損益に与える影響はありません。

* 4 特別損失(294億円)のうち、205億円は価格変動準備金への繰入(太陽生命:178億円、大同生命:25億円、TDF生命:1億円)です。

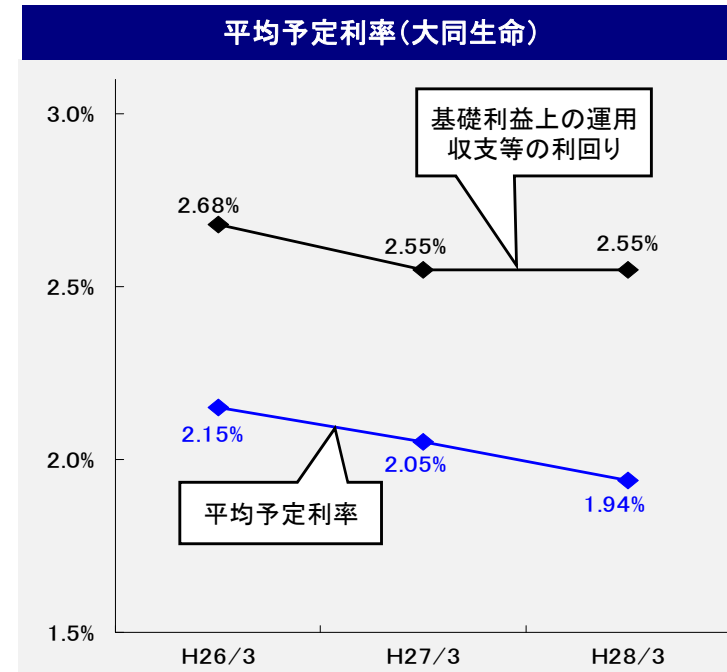
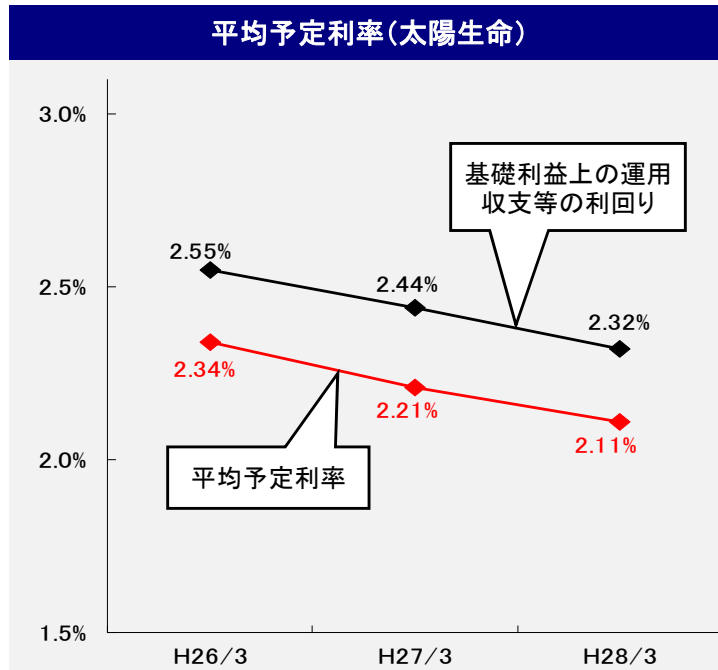
* 5 親会社株主に帰属する当期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、当期純利益を記載しております。

参考データ(その他の指標等)

■ 基礎利益と順ざや額

(単位: 億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
基礎利益	1,530	△ 296 (△ 16.2%)	538	△ 143 (△ 21.1%)	1,048	△ 28 (△ 2.6%)	△ 55	△ 124 -
順ざや額(△逆ざや額)	402	+56 (+16.4%)	127	△ 8 (△ 6.5%)	306	+64 (+26.8%)	△ 31	+0 (△ 2.8%)



参考データ(その他の指標等)

■ ソルベンシー・マージン比率と実質純資産

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率			890.6%	103.3ポイント低下	1,341.9%	21.8ポイント低下	1,260.7%	11.2ポイント低下
連結ソルベンシー・マージン比率	1,155.8%	64.9ポイント低下	898.5%	102.6ポイント低下	1,350.0%	21.5ポイント低下		

* T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

(単位: 億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
実質純資産	29,276	+2,821	12,512	+877	14,361	+1,477	2,283	+721

■ 有価証券等の差損益(一般勘定)

(単位: 億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
有価証券の差損益	15,654	+2,224	8,092	+432	6,192	+999	1,369	+792
うち公社債	9,932	+4,042	5,050	+1,970	4,004	+1,646	877	+425
うち株式	2,949	△ 1,029	1,502	△ 809	1,447	△ 220	-	-
うち外国証券	2,028	△ 913	1,449	△ 614	569	△ 308	9	+9
土地等の差損益	443	+70	155	+80	288	△ 9	-	-

* 1 有価証券の差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

* 2 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

参考データ(その他の指標等)

■ 市場統合的エンベディッド・バリュー(MCEV) [速報]

(単位:億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
MCEV	18,937	△ 4,043	7,257	△ 1,428	10,780	△ 2,287	934	△ 23

* 1 Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(1兆8,672億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(264億円)」の合計額です。

* 2 Group MCEVの増減額と3社合算の増減額の差異は、主にT&Dホールディングスが当期に実施した自己株式の取得(約300億円)によるものです。

(単位:億円)

	T&D保険グループ全体 (3社合算)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約価値	563	△ 366	181	△ 143	346	△ 235	35	+11

* MCEVについては本日開示のニュースリリース(速報版)をご参照ください。なお、詳細については、第三者の検証を受けた平成28年3月末MCEVを、平成28年5月18日に開示する予定です。

平成29年3月期 通期業績予想

■ T&Dホールディングス連結

(単位:億円)

	平成28年3月期実績	平成29年3月期予想
経常収益	20,259	17,500 程度
経常利益	1,714	1,640 程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	725	730 程度

	平成28年3月期予定	平成29年3月期予想
1株当たり年間配当	30円	30円(うち中間配当15円)

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成29年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位:億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	8,000 程度	9,000 程度	1,700 程度
経常利益	740 程度	880 程度	10 程度
当期純利益	290 程度	430 程度	10 程度

* 連結と生命保険会社3社合計との差額は、3社以外の連結子会社ならびに連結会社相互間の調整等によるものです。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

(参考)契約者配当

■ 太陽生命

個人保険・個人年金保険	前年度配当率を据え置きます。
団体保険	前年度配当率を据え置きます。
団体年金保険	責任準備金に対して0.15%(一部商品については0.40%)の利差配当を実施します。

■ 大同生命

個人保険・個人年金保険	
・毎年お支払いする通常の配当金 利差配当	利差配当は、予定利率2%超の個人保険及び個人年金保険について責任準備金1万円につき5円引き上げます。ただし、一時払の保険契約(一部の契約は除きます)及び予定利率2%以下の個人保険は、前年度配当率を据え置きます。
利差配当以外	前年度配当率を据え置きます。
・消滅時などにお支払いする通常の配当金	前年度配当率を据え置きます。
団体保険	利差配当は、個人保険・個人年金保険と同様の取り扱いといたします。死差配当及び費差配当は、前年度配当率を据え置きます。
団体年金保険	責任準備金に対して0.05%の配当を実施します。

■ T&Dフィナンシャル生命

前年度に引き続き割り当てはありません。

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報部	川俣・勝呂	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課	平本	TEL 03-3272-6206
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	高橋	TEL 03-6745-6808